

TAVI 術中の左室ペーシング、右室ペーシングに関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

TAVI(経皮的動脈弁留置術)治療は、正確に人工心臓弁を留置するために、脈拍数を増加させる手技を行っており、多くの施設では内頸静脈や大腿静脈から一時的ペーシングを挿入し、右室ペーシングが行われています。しかし、近年、人工心臓弁を持ち込む際に使用する左室ワイヤを利用した左室ペーシングを安全に行うことが可能であると報告されており、当院では左室ペーシングを積極的に行っています。今回 TAVI 術中の右室ペーシング、左室ペーシングの実臨床における適応を明らかにすることを目的としてこの研究を行います。それぞれの適応が明らかになれば左室ペーシングをより積極的に使用することが可能となり、今後のより安全な TAVI の手技につながることを期待されます。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2018年1月～2024年4月まで当院でTAVIを受けられた方。

使用する試料・情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、手技情報、心電図検査、心エコー検査、手技の合併症など
利用開始予定日：2025年1月15日

研究予定期間

2025年1月15日～2026年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 鈴木 寛人

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器内科 鈴木 寛人

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)